

SCENE B: Q: So, how's your new boss, Jane?

A: He is really great.

見本例1 + 2

He's really great.

He seems to be a very effective manager. We're all inspired by him.

First of all, he really knows about the business, and we learn so much from him. And he's also great because he truly listens to our ideas.

本当に素晴らしいんですよ。すごく優秀なマネジャーっていう感じでね、みんな、すごくやる気になっていますよ。まず、業界のことをすごくよく知っていて、とても勉強になるんですよ。それから、彼がすごいのは、僕たちの意見を本当に聞いてくれるんですよ。

an effective manager 優れた、優秀なマネジャー

やまと言葉

effective は一般的な訳語としては「効果的な」というのが浮かぶのですが、「effect (効果、結果) + ive (~の性質をもつ、~の傾向をもつ)」という語の成り立ちからも分かるように、コアの意味は「結果が出せる、効果を出せる」ということです。英語では「人」について語るときにも、この effective が大活躍するのですが、日本語の感覚では「(出すべき結果を出せる) 優秀な、優れた、力のある」といった感覚です。

to be inspired by ... ~によって鼓舞される

やまと言葉

to inspire someone (誰かを鼓舞する)/ to be inspired by ... (~に鼓舞される) というのは、英語で非常によく使われる表現です。inspire は、「in(中に) + spire(吸い込む)させる」という意味で、イメージとしては、こちらのエネルギーのようなものが相手の中に吸い込まれていく感じです。その結果、inspire された人は、エネルギーややる気や勇気が体中に湧き上がっているといった感じです。リーダーとして「影響力がある」「人をひっぱっていく力がある」といった資質を語る際によく使われます。

to know about the business 業界に詳しい、仕事の経験が豊富

慣用表現

常に the business と定冠詞できて、「その人の仕事の業界、その人の仕事の分野、その人の商売」といったニュアンスです。全体で、その人がその業界やその商売の分野でかなりの経験があって、その業界や商売の仕方に精通しているというイメージです。

We learned so much from ... ~から多くを学びました。

慣用表現

to learn from... は、英語ではかなり前向きでプラスの響きがあります。from の後ろは、人でも事柄でもかまいません。例えば、this experience(この経験)、what happened(起こったこと 今回の一件/今回の失敗)などがたります。

to listen to others' ideas 周りの人の考えに耳を傾ける

慣用表現

to listen to others (周りの人の言うことに耳を傾ける)、to listen to others' ideas(周りの人の考えに耳を傾ける) は、ともにリーダーの資質としてよく挙げられるもので、この表現は非常によく出てきます。必ずしも相手の意見や考えを受け入れて採用するということではなく、相手を尊重し、相手が意見や考えを言って参画する機会を与えることにポイントがあります。